

# サザンクロス

vol.6

KINAN HOSPITAL  
OFFICIAL INFORMATION PAPER

September. 1. 2009

## ミクロの決死圏

病院長 山本忠生

「ミクロの決死圏」は学生時代に見たSF映画である。スパイに襲撃された要人を救うために、医療チームを乗せた潜水艦に特殊光線を当ててミクロの大きさに縮小し、体内に注入、苦勞の末病巣部に達し、レーザーで脳出血の治療を行うという話である。乗組員に一人のスパイが紛れ込んでいるストーリーも面白かったが、拡大された血管、流れる赤血球、心臓の鼓動、潜水艦に絡みついた抗体などが印象に残っている。

40年余り経過した現在、ミクロの決死圏で見られたアイデアは実用化され、紀南病院でもレーザー治療、カテーテル治療、内視鏡治療が普通に行われている。今回、病院に導入する64列MDCTを用いるとバーチャル内視鏡やCTアンギオが可能になる。特にCTアンギオは、今までカテーテルを用いなければ評価できなかった冠動脈の狭窄が評価できる。医療機器の進歩は目覚しく、聴診器一本で患者の前に立つと、病院の医師はどうしてよいか途方に暮れてしまう。

西アフリカのニジェールは海のない国で、一昨年紀南病院で細菌検査の研修を行った青年たちは、扇ヶ浜で打ち寄せる波に足を浸け大喜びであった。彼らは日本の食事に感激し、紀南病院の医療設備に驚いていた。しかし彼らは、日本人はいつも追いかけていられるように見えるとも述べていた。我々を追いかけているものが生活を豊かにするものであれば問題はないが、豊かになった結果生じた必要以上の生活不安や健康不安なら問題である。高度な医療技術がマスコミで紹介され、どんな病気も専門の医師にかかりさえすれば完治すると思込んでいる人も多い。そうなると「必要」のレベルは上がり、現実とのギャップが更に不安を掻き立てる。

「てんぷらや鰻は年に一、二度食べるから馳走なのだ。あんなもの、毎日のように食べてもうまくもなんともない。」と山本夏彦氏は述べている。食事はカロリーと栄養バランスだけでなく、美味しいかどうか、誰と食べたか、何を話しながら食べたか、なども大切な要素である。どんなご馳走でも毎日同じならあまり美味しくないし、いやな人と食べればだいなした。

医療機器や技術の進歩はすばらしいが、たいいていは目に見える臓器の障害を診断、治療するのに用いられる。しかし、目に見えない苦しみや痛みを診断し、不安感を消し去る方法の進歩は少ない。人は常に現状に不満を持ち、他人をうらやみ自分の不幸を嘆く。しかし病気や死ぬことがなく、心の満たされる世界はどこにも存在しない。必要以上の不安から逃れるには、我々は技術の限界を理解した上で、科学技術の進歩を素直に受け入れるべきだろう。

## 研修医制度の変更点

病院長 山本忠生

今回、臨床研修制度が一部見直しとなった。まず必修科目を、内科、救急医療、地域医療の3科目に減らし、今まで必須であった外科、麻酔科、小児科、産婦人科、精神科の5科目は最低2科目を選択すればよいこととなった。選択科目の到達目標は変えなかったの経験すべき症例は今までと同じであるが、研修期間は任意とした。

次に都道府県別、病院別に募集定員の上限を設定した。募集定員の上限設定は、研修医の都市部集中を是正するのが狙いで、人工や面積比、医学部定員、研修医の採用実績などで決定される。各病院の募集定員の上限は、過去3年間の受入実績の最大値とし、病院が所在する都道府県の募集定員の合計が各都道府県別の上限以内、という規制を設けた。紀南病院の定員は今のところ6名だが、欠員状態が続けば減少する。

到達目標は今までと変わらないということは、たとえ外科を選択しなくても手術症例を1例以上受け持ち、症例レポートを提出することが必修とされる。紀南病院の研修プログラムでは、1年目は内科6ヶ月、救急部門3ヶ月、外科、小児科各1ヶ月、産婦人科、精神科各2週間とし、2年目は地域医療に1ヶ月、残り11ヶ月は本人の希望科目とし、基本的にほぼ今までと同じ科目をローテートすることとした。(参照 [http://www.kinan-hp.tanabe.wakayama.jp/recruit/kensyu\\_ika.html](http://www.kinan-hp.tanabe.wakayama.jp/recruit/kensyu_ika.html))

20名以上の研修医を募集している病院では、小児科、産婦人科の特別枠を設けるという規定もあり、医師不足、医師の地域偏在、科目偏在に何とか対応しようという当局の意志が強く感じられる。医師不足の原因が臨床研修医制度にあるとは思わないが、今回の変更は大学病院に有利で、これからは大学病院を選ぶ研修医が増加するとささやかれている。我々は市中病院の魅力をもっと前面に出し、大学病院ではできない研修が可能なプログラムを作る必要がある。





## 地域医療連携だより

おかもと内科クリニック  
岡本 訓久



当院では電子カルテを導入していますが、その入力作業にかなり時間がかかるので家に帰るのはいつも夜11時や11時半になってしまいます。そんな毎日ですが、家に帰ってから何となくポーンとテレビを見るのが一日のうちで一番気の休まる時間です。そんなとき最近よく目にするのは、一昔前のヒット曲をCDに集めて売っている通信販売です。ちょうど自分が20代の頃の曲などがあり、「この曲懐かしいな!」と思わせる曲ばかり。「買おうかな?」と思って電話の受話器を取り上げるのですが、しかしそこで考えます。待てよ?自分は46歳でまだ若いと思っている。まだまだやらねばならぬ事もある。昔の曲を聞いてノスタルジーに浸っているような年齢ではない!と自分に言い聞かせ受話器をまた元に戻すのです。



ただ、考えてみれば今まで音楽との付き合いは多かったように思います。最初に音楽に触れたのは中学生の頃のフォークギターでした。当時はアリスや長渕剛などが全盛期で、その少し前にはかぐや姫などが流行っておりました。同級生3人でフォークグループを作り、かぐや姫などの曲を練習して、学校で小さなコンサートを開いたりしておりました。



高校の頃は受験もあり音楽とは少し離れておりましたが、大学に入ってから軽音楽部に入部。軽音楽部といってもJazzの方で、トロンボーンを吹いておりました。大学を卒業してからはなかなか時間がなく、楽器を手にするようなことはありません。最近はおっぱら聞くばかりです。特に最近毎日聞いているのがDreams come true。

今年はDreams come trueもデビュー20周年とのことですが、私が聞き始めたのはごく最近のことです。この年齢になってからDreams come trueとは少し気恥ずかしいのですが、ボーカルの吉田美和さんの歌唱力がすばらしく、また曲や歌声にも何となくノスタルジーを感じさせるものがあるのです。結局ノスタルジーに浸っているのでは?と言われるそうですが、もし時間ができればまた昔のように何か楽器を練習してみようかな?とも思っています。

## 医療の現場から



形成外科 小幡 有史

形成外科的な手術法の歴史は紀元前の古代インドをはじめ、非常に古くからみられますが、現在の形成外科は第二次世界大戦以後欧米を中心に急速に発展しました。日本では東京大学病院で形成外科診療班として1956年頃に誕生し、その後、医療法による一般標榜科として正式な診療標榜を認められることになったのは1975年のことです。

まだまだ新しい診療科ですので、残念ながら認知度も低く、美容外科領域の方が認知度の高さでは先行している印象もあるところです。

形成外科とは、先天的、後天的な体表の異常や変形を、外科的処置によって機能と形態の改善をはかる診療科です。例えば熱傷後のケロイド・瘢痕拘縮を完全に元どおりの皮膚に戻すのは現在の医学では不可能ですが、植皮・皮弁・瘢痕拘縮形成術を用いることにより、引きつれた拘縮の解除を行い、安静を保つことでケロイドを落ち着かせ、可動域の回復、形態の改善、除痛をはかる事ができます。

また、生活の満足度を向上させることを目的として、病的でない正常な外観をさらに改善するために手術を行う美容外科も形成外科領域に含まれます。ただし、医療法上は形成外科と美容整形は各々独立した標榜科となっています。

形成外科は、特定の臓器を治療対象とする外科ではなく、全身あらゆる部位の異常や形態変化を治療対象としていますので他の診療科と多くの境界領域を持っています。また、境界領域をもっているため、形成外科領域で発達した独特の治療法も存在します。各科診療領域から少し外れるような微妙な疾患も形成外科では治療可能な場合がありますので、まずはお気軽にご相談ください。

### 当科の主な対象疾患

皮膚腫瘍、瘢痕、瘢痕拘縮、肥厚性瘢痕、ケロイド、ピアスケロイド、陥没乳頭、臍突出症、臍ヘルニア、莓状血管腫、脂肪腫、褥創、難治性潰瘍、眼瞼下垂、眼瞼内反症(逆睫毛)、陥入爪、腋臭症、副耳、耳垂裂、耳(前)瘻孔、埋没耳

## 看護学校だより

社会保険紀南看護専門学校では、下記のとおり入学試験を行います。看護職への第1歩を踏み出そうと考えている皆様お待ちしております。

### 1. 入学試験願書受付期間

下記の期間内に、直接持参(平日9時～17時)または、郵送(書留郵便)により提出して下さい。(締切日必着)

一般入試(前期)	平成22年1月4日(月)～同年1月12日(火)
一般入試(後期)	平成22年2月12日(金)～同年2月26日(金)

### 2. 入学試験日程

推薦入試(指定校推薦)	平成21年11月20日(金)	
前期一般入試	筆記試験	平成22年1月21日(木)
	面接	平成22年1月22日(金)第1次試験合格者のみ
後期一般入試	筆記試験	平成22年3月16日(火)
	面接	平成22年3月17日(水)第1次試験合格者のみ

### 3. 入学案内請求方法について

1) 直接来校の場合・・・受付時間 午前9時～午後17時

2) 郵送で請求する場合・・・郵便番号・住所・氏名を明記した返信用封筒(角2号24×33cmに140円切手を貼付)を同封し、「募集要項請求」と書き、下記住所に郵送して下さい。

〒646-0031  
和歌山県田辺市湊663  
社会保険紀南看護専門学校 宛  
「募集要項請求」

入学試験・その他お問い合わせは下記宛にお願いします。

社会保険紀南看護専門学校 TEL0739-22-1592 fax0739-22-1687  
学校ホームページ <http://www.aikis.or.jp/~kn-kang/>

# 病院のまど

## 第20回市民健康講座のお知らせ

新型インフルエンザの影響により開催を延期させて頂いておりました、眼科月元医師の講演を、下記日程で開催することになりました。皆様多数のご聴講をお願いいたします。

日時	平成21年10月4日(日)
時間	午後2:00~3:00
会場	紀南病院 3階講堂
演題	白内障のいろいろ (特にその手術)
演者	月元友厚(眼科医員)

## 敷地内美化作業について

病院敷地の雑草が繁茂していたので、7月11日(土)、22日(土)に院内の有志を募り、敷地内の草むしりを行いました。リハビリ庭園を中心に、2時間にわたり雑草を引きました。さすがに作業後は全員汗だくでしたが、見違えるようにさっぱりとしたリハビリ庭園を見ると、全身爽快感に包まれました。いつまでも美しい病院であるよう、これからも院内の有志による美化活動を行って参りたいと考えております。

## 病院機能評価の受審について

社会保険紀南病院と紀南こころの医療センターは、平成17年に日本医療機能評価機構による機能評価の認定を受け、現在に至っております。その認定期限が平成22年をもって終了するため、認定の更新を目指し取り組みを始めました。地域の皆様に提供する医療の質並びにサービスを向上させ、より良い病院作りをめざし、職員一丸となって取り組んで参ります。

## 医療安全管理研修 「肺血栓塞栓症について」

7月21日(火)日本シャーウッド株式会社の三崎紫朗先生をお招きし、「静脈血栓塞栓症の予防について」講演をいただきました。一般的にはエコノミークラス症候群として知られているこの病気の予防法について、より一層の知識を深めることができました。これからの医療に役立てていきたいと思えます。

## がん緩和ケア研修会

7月19日、20日の2日間にわたり、当院講堂にて「和歌山県においてがん診療に携わる医師に対する緩和ケア研修会」を開催いたしました。

今回の研修会には院内外の27名の医師が参加し、緩和ケアについて2日間で計13時間にわたる様々な内容のプログラムを受講しました。大変厳しいスケジュールでしたが、参加者からは「大変勉強になった。」「今後の治療の参考になった。」などの感想をいただきました。

厚生労働省より指定をいただいている地域がん診療連携拠点病院として、来年度以降も同様の研修会を開催する予定です。ご参加をお待ちしております。

## 編集後記

### 何だかおかしい!

8月になってもまだ耳にする新型インフルエンザ感染のニュース。観測史上最も遅い梅雨明け。各地で災害を起こしているゲリラ豪雨・竜巻。

これらは汚染され、痛めつけられている地球の叫び声なのだろうか?

長期宇宙滞在から帰還した若田さんの言葉が忘れられない。スペースシャトルのドアが開いた瞬間飛び込んできた草のにおいが感動的だったと・・・。

かけがえのない地球。  
もっと大切にしたいものだ。

上野 記

### 基本理念

私たちは、患者様に優しさをもって接し皆様から信頼される医療を目指します。

社会保険紀南病院  
〒646-8588 和歌山県田辺市新庄町 46-70  
Tel 0739-22-5000 Fax 0739-26-0925  
<http://www.kinan-hp.or.jp>